



平成 25 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ ナ リ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 池 田 元 英
(コード番号：6079 東証マザーズ)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役
経 営 管 理 本 部 長 渡 部 健
(TEL. 03-5284-8326)

バイオガスファンド事業の出資等に伴う特定子会社の異動のお知らせ

株式会社エナリス（本社：東京都足立区、社長：池田元英、以下「当社」）は、当社の連結子会社である株式会社フォレストキャピタル（以下「フォレストキャピタル」）が無限責任組合員となる「NCP バイオガス発電投資事業有限責任組合」（以下「バイオガス LPS」）との投資事業有限責任組合契約を締結し、またバイオガス LPS がエナリス DE バイオガスプラント株式会社（以下「エナリス DEBP」）に対する出資契約を締結するとともに、フォレストキャピタルがエナリス DEBP の全株式をバイオガス LPS へ譲渡する株式譲渡契約を締結いたしました。

これらの出資契約等に伴い、バイオガス LPS 及びエナリス DEBP が新たに特定子会社に該当することについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 出資契約等締結の背景・理由

当社グループは、再生可能エネルギー設備の開発・販売や発電事業を行う電源開発事業の一環として、バイオガス発電事業へ参入することを決定しております。

本事業は、大手飲料メーカーの受託製造会社である株式会社日本キャンパックの群馬工場内にプラントを設置、同工場から排出される食品残渣を原料として、プラント保有と発電を行うエナリス DEBP がバイオガス発電を行い、当社が P P S 業務代行を行う群馬コミュニティー電力株式会社を通じて、地元の施設へ電力供給し地域の資源循環を構築する事業となります。

また、本事業は当社グループが組成するバイオガスファンド事業として、当社の連結子会社であるフォレストキャピタルが無限責任組合員として組成、管理・運営を行うバイオガス LPS に当社が過半数出資し、当該 LPS よりエナリス DEBP へ普通株式による出資（総額 324,000 千円）を行い、バイオガス発電事業を行うスキームとなります。

当社グループのファンドスキームによる初案件であり、電源開発事業の資金調達手段の多様化を図りつつ、食品廃棄物を原料としたバイオマス発電による CO2 削減効果や、地元施設に電力販売を行う地産地消電力供給モデルにより地域活性化に貢献できる意義のある事業と考えております。

このたび、バイオガス LPS がエナリス DEBP に総額 324,000 千円出資するファンド出資契約を

本日締結し、またフォレストキャピタルが一時的に取得・保有しておりましたエナリス DEBP 株式をバイオガス LPS へ譲渡する契約を締結するとともに、当社はバイオガス LPS と投資事業有限責任組合契約を締結し、出資を行うものであります。

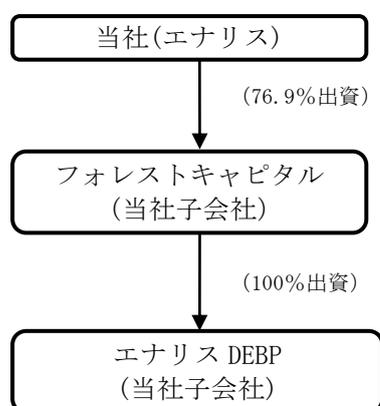
2. 異動の方法・日程

- (1)平成 25 年 11 月 5 日付で、投資事業有限責任組合契約に基づき、第 1 回目の出資として当社がバイオガス LPS へ 80,595 千円の出資を実行いたします。また同日付で、フォレストキャピタルが無限責任組合員として 900 千円の出資を実行、その他投資家よりバイオガス LPS へ 78,700 千円出資される予定です。
- (2)平成 25 年 11 月 6 日付で、フォレストキャピタルがエナリス DEBP 株式 100 株 (5,000 千円) をバイオガス LPS へ譲渡いたします。
- (3)平成 25 年 11 月 7 日付で、エナリス DEBP が普通株式 2,700 株を発行し、バイオガス LPS が同株式を引き受けることにより、第 1 回目の出資 135,000 千円を実行いたします。

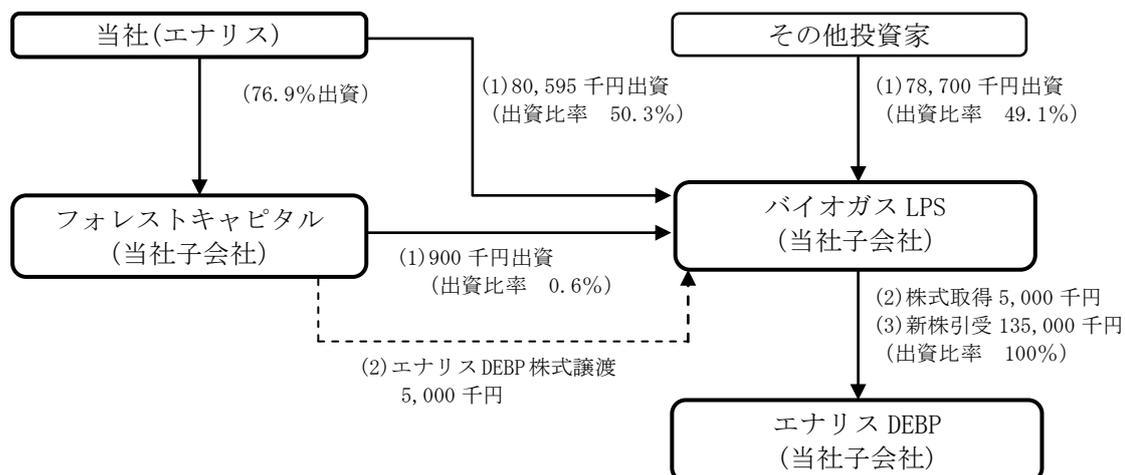
上記の(1)～(3)の異動の概要は、以下の図のとおりです。

これらにより、バイオガス LPS が当社の子会社(特定子会社)となり、さらにエナリス DEBP がバイオガス LPS の子会社(特定子会社)となります。

(異動前)



(異動内容・異動後)



3. ファンド等の概要

(バイオガス LPS の概要)

名称	NCPバイオガス発電投資事業有限責任組合	
所在地	東京都足立区千住一丁目4番1号 東京芸術センター	
設立根拠等	投資事業有限責任組合に関する法律	
投資対象	バイオガス発電事業を行うエナリス DE バイオガスプラント株式会社への株式投資等 出資総額 324,000 千円 (第1回目出資 135,000 千円、平成25年11月7日予定) (第2回目出資 105,000 千円、平成26年2月予定) (第3回目出資 84,000 千円、平成26年9月予定)	
ファンド規模	350,000 千円	
投資期間	10年間(但し、3年間延長可能)	
無限責任組員(出資比率※)	株式会社フォレストキャピタル(0.2%)	
有限責任組員(出資比率※)	株式会社エナリス(56.9%)、その他投資家(42.9%)	
上場会社と当該ファンドとの関係	当社は当該ファンドに過半数以上を出資し、当該ファンドは当社の連結子会社となります。	
上場会社と無限責任組員との関係	資本関係	当社が76.9%出資しております。
	人的関係	当社の役員が3名兼務しております。
	取引関係	当社が業務の委託等を行っております。

※出資比率は、出資総額に対する各組員の出資予定額(3回合計)の割合で算出しております。

(エナリス DEBP の概要)

名称	エナリス DE バイオガスプラント株式会社
所在地	東京都足立区千住一丁目4番1号 東京芸術センター
代表者の役職・氏名	代表取締役 久保好孝
事業内容	バイオガスプラント設備等の所有、発電事業等
資本金(出資前)	5,000 千円

(フォレストキャピタルの概要)

名称	株式会社フォレストキャピタル
所在地	東京都足立区千住一丁目4番1号 東京芸術センター
代表者の役職・氏名	代表取締役 久保好孝
事業内容	ファンドの募集・管理及び運用等
資本金	13,000 千円

4. 今後の見通し

本件については、当バイオガス事業における当社の PPS 業務代行や電力卸取引による収益やファンドからの収益分配、子会社フォレストキャピタルにおけるファンド管理報酬等の収益が将来期待できますが、当期業績への影響は軽微であり、平成 25 年 10 月 8 日公表の平成 25 年 12 月期通期業績予想に変更はありません。

今後、業績予想修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせします。

以上

【参考（スキーム概要）】

本事業は、食品工場の食品残渣を原料としてバイオガス発電を行うものです。これは安定供給が見込まれる食品工場内の食品廃棄物の処理に当たってこれまでの焼却処理から CO2 排出抑制効果を持つバイオガス発電をすることで、全国にある食品残渣処理問題の解決を達成しつつ、バイオガス発電分野の普及を進める点において、1つの事業モデルとなり得ると考えられます。

具体的には、プラント保有と発電を行うエナリス DE バイオガスプラント株式会社（所在地：東京都足立区、代表取締役：久保好孝、以下 SPC）が、大手飲料メーカーの受託製造会社である株式会社日本キャンパックの群馬工場内にプラントを設置することで、原料の安定供給を確保しています。更に、当社が運営する群馬コミュニティー電力株式会社を通じて、地元の施設へ割安価格で電力供給し地域の資源循環を構築する点で、地域活性化に資することが期待されます。

